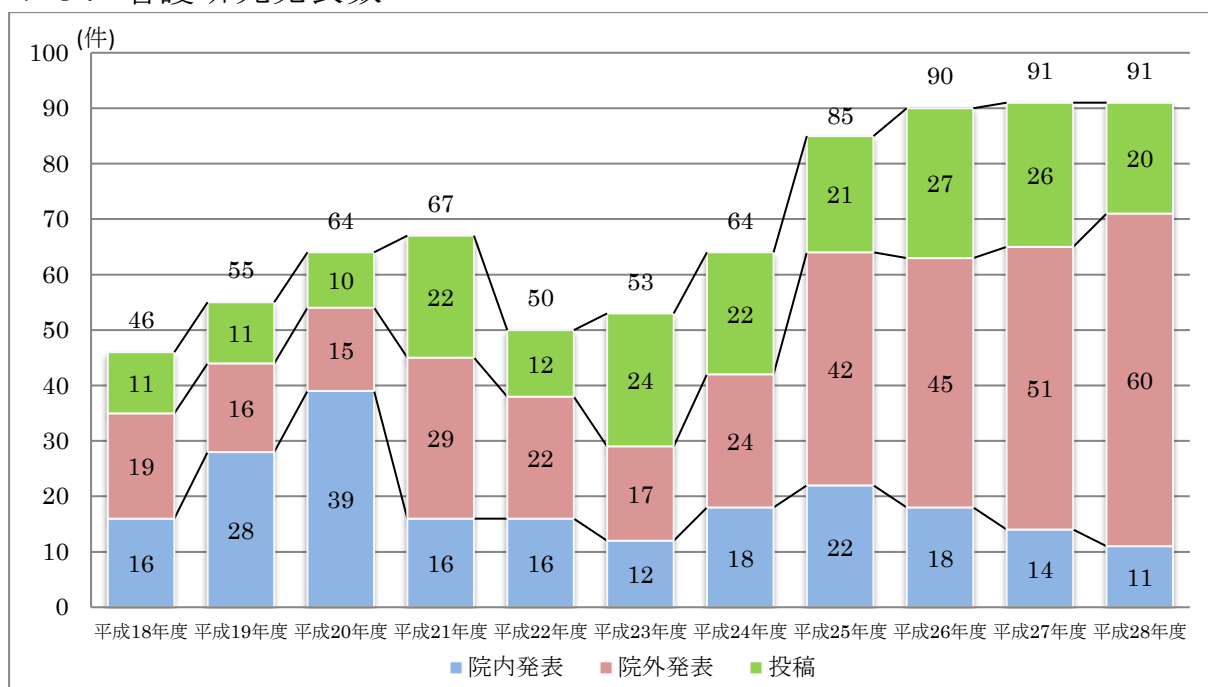


7 5. 看護研究発表数



専門職を謳う看護職では、積極的な研究活動することが求められている。

看護部では平成 25 年度より院内外の研究会、学会で発表できるよう支援体制を整備し、特に院外における研究発表は年々増加している。

平成 26 年度には看護部ラダー教育として「看護研究への取り組み」を 2 コースに分け、段階的に学習を支援した。藤田保健衛生大学医療科学部看護学科の教員と協働し、より質の高い研究として取り組みを始めた。

更に雑誌への執筆・論文の投稿は専門・認定看護師を中心に活動し、多くの全国誌への掲載を通して看護部の活動を発信している。

研究活動は大学病院の看護部の使命であり、現在の状況に満足することなく引き続いて研究を助成する事が看護部に求められている。

データ提供 看護部